

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	企画振興部新幹線・総合交通対策課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	早稲田 智仁
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)

九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大、離島地域の活性化等につながる重要な交通基盤であり、鹿児島ルートとともに一体的に整備することで九州地域の一体的浮揚をもたらすことから、早期完成・開業を目指します。また、新幹線を軸として、佐世保線等の県内鉄道の輸送改善に努めます。

(取組項目)

i) 西九州ルートの平成34年度までの開業と全線フル規格化の実現
ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組
iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進

事業群	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	土木工事・軌道工事の整備促進	目標値①		—	—	—	—	—	概成 (H32年度まで)	
		実績値②	—	—	—				進捗状況	
		②／①		—	—				—	

対面乗換方式による平成34年度の開業に向けて、着実に工事が進んでいる。しかしながら、導入が予定されていたフリーゲージトレイン(FGT)については、安全性・経済性の課題が解決に至らず、西九州ルートへの導入は困難な状況となった。
このため、昨年7月、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線(西九州ルート)検討委員会」(以下、「与党PT検討委員会」)において、県としては、現在整備中の武雄温泉～長崎間のインフラを十分活用できる最善の選択肢として、フル規格による整備を要請した。
その後も、フル規格による整備等について、国等に対して継続的に要望を行った。

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業 番号	取組 項目	事務事業名	事業 期間	事業費（単位:千円）			事 業 概 要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核 事業
				H28実績	うち 一般財源	人件費 (参考)	事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
				H29実績							H29目標	H29実績			
		H30計画		H30目標											
1	取組 項目 i	新幹線・鉄道整備促進 事業	H7-	24,128	24,128	40,210	国、市町、 鉄道事業 者等	全線フル規格の実現に向け、国等への要望活動 や情報収集、県内向けの広報・啓発活動を行っ た。また、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進 を図った。	活動 指標	要望活動	数値目標なし	3	—	FGTの開発状況を受けて、与党PT検討 委員会において、西九州ルートの整備 のあり方が検討されている。 また、広報活動等により、県民の平成3 4年度の開業やフル規格に向けた期待 感が高まった。	○
				26,550	26,550	36,207					数値目標なし	6	—		
				24,960	24,960	39,980					数値目標なし	—	—		
		新幹線・総合交通対策課		数値目標なし	—	—									
2	取組 項目 ii	JR佐世保線輸送改善 調査	(H29 終了) H29				市町、鉄道 事業者等	JR佐世保線輸送改善についてH27年度の基礎 調査の深度化調査を実施した。	活動 指標	佐世保線等整備検討 委員会や幹事会など 関係者との協議回数				JR佐世保線の輸送改善の方向性につ いて長崎県、佐世保市、JR九州の3者 で協議を行い、平成29年度に平成27年 度に実施した基礎調査の深度化調査を 実施した。	
				21,600	10,800	4,023					2	2	100%		
											—	—	—		
		新幹線・総合交通対策課		実施	実施	—									

3	取組項目iii	新幹線整備事業費負担金	H19-	10,461,825	57	28,147	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルート建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	活動指標	負担金支出額(千円)	数値目標なし	10,461,825	—	九州新幹線西九州ルート建設に寄与した。
				13,275,576	78	28,161					数値目標なし	13,275,576	—	
				30,399,499	163	27,986					数値目標なし			
		新幹線事業対策室		数値目標なし	—	—					数値目標なし			
4	取組項目iii	新幹線整備事業費	H21-	65,669	0	209,092	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルート建設に係る、用地取得業務の委託	活動指標	用地取得率(%)	数値目標なし	95	—	九州新幹線西九州ルート建設に寄与した。
				43,624	0	120,690					数値目標なし	98	—	
				22,904	0	35,982					数値目標なし			
		新幹線事業対策室		数値目標なし	—	—					数値目標なし			

i) 西九州ルートの平成34年度までの開業と全線フル規格化の実現

ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組

iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業	－	－	県としては、フル規格による整備方針の早期決定、また、そのために課題となっている地方負担の軽減について、機会を捉えて国等へ強く働きかけを行っていく。 また、H34年度の開業については、長崎新幹線・鉄道利用促進協議会を通じた各種広報活動を実施し、開業に向けた気運を高めていく。	改善
3	取組項目 iii	新幹線整備事業費負担金	－	－	武雄温泉～長崎間の平成34年度までの開業に向けて、今後も新幹線整備を推進。	現状維持
4		新幹線整備事業費	－	－	武雄温泉～長崎間の平成34年度までの開業に向けて、用地取得業務の進捗を図っていく。	現状維持

注：「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点